

神奈川県自然公園だより

◆宮ヶ瀬ビジターセンター ◆丹沢湖ビジターセンター ◆栗野ビジターセンター
◆西丹沢自然教室 ◆陣馬自然公園センター ◆山岳スポーツセンター
◆ユウシロジ

財団法人神奈川県公園協会

2006. 12
NO. 40



世附の夕滝

クマ? カモシカ?

丹沢湖周辺の紅葉と言え、玄倉川溪谷の紅葉が有名ですが、他にもきれいなところはたくさんあります。

丹沢湖の西、世附(よづく)にある夕滝は、世附川の支流である夕滝沢から流れ落ちている落差約百メートルです。水量は多くありませんが風情のある美しい滝です。

紅葉はもちろん一年中楽しめます。

丹沢湖ビジターセンターのすぐ横の秦野峠林道を進むと、斜面を駆け上る、なにやら黒い生きものその後姿が「もしもかしてクマ?」「いやいや、よく見るとカモシカでした。カモシカの後ろ姿は、一瞬見るだけだと意外とクマに似ているのだなあ、と実感した瞬間でした。

さわやか登山!

第三十三回県民ハイク

十一月三日に、第二十二回のかながわ県民登山(ハイク)が花コース・三の塔コースの二コースで開催されました。

当日は、小学生から高齢の方まで、幅広い参加がありました。大会をサポートする山岳連盟他の関係機関を含めると、総勢一七一名と、大変活気のある県民ハイクとなりました。

この催しは、県の生涯スポーツ普及の一環として行われました。

当日は天候にも恵まれ、参加者のみなさんはさわやかな気候の中、秋の登山や植物の観察と、一日を楽しく過ごされました。その中で、残念なことには体調を崩された方の重大事故が発生したことが悔やまれます。

今月は、館内で丹沢大山総合調査報告のパネル展示を行い、来館者に丹沢の現状と再生について理解を深めていただきます。



県民ハイクの様子



今年はクマの目撃情報が増えています。その中にはこのようにカモシカと見間違えた情報も少なくないようです。

丹沢湖ビジターセンター【山北町玄倉515 TEL: 0465-78-3888】

西丹沢一〇大ニュース

今年も丹沢全体や西丹沢では、いろんな出来事がありました。来館者などにアンケートの協力をお願いして決めた「二〇〇六年西丹沢「勝手に」一〇大ニュース」は次のとおりでした。

- 第一位 秋にツキノワグマの目撃が多かった (九、十月)
- 第二位 大杉山で十九名の道迷い遭難が発生した (一月)
- 第三位 西丹沢でのボランティア活動が盛んに行われた
- 第四位 三カ年にわたる丹沢大山総合調査が終了した (三月)
- 第五位 孤釣山避難小屋の改修工事が始まった (十一月)
- 第六位 玄倉川林道の青崩トンネルの工事で林道が通行できなくなった (十一月)
- 第七位 総合調査を受けて自然再生の政策提言が出された (七月)
- 第八位 丹沢エコツアーリズム推進事業の担い手育成講座が始まった (九月)
- 第九位 今年のシロヤシオツツジは、あまりきれいに咲かなかった (五、六月)
- 第十位 展示室内にクライミングウォールを設置した (七月)

西丹沢自然教室【山北町中川867-2-9 TEL: 0465-78-3940】



山頂から望む富士山

秋のおわり、冬のはじまり

朝晩の風はひんやりとしてきました。木々の葉は冬枯れ前の華やかな秋色で、ヒラヒラと風に吹かれて舞い散っては、私たちの目を楽しませてくれます。

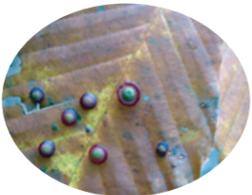
登山道には、フワフワと落ち葉がいっぱい敷き詰められ、サクサクとその落ち葉を踏む感触は、秋ならではの味わいです。十一月九日の冷え込んだ朝、羽化したヒメヤママユヤ、オオスズメバチが玄関前に現れました。十三日の午後には、ムラサキツツジの枝にカケスが近づいても気がつかない様子で、じっとしていました。十二月五日、陣馬山頂ではシモバシラの茎に氷の華ができました。今年も楽しみにしてきた冬の風物詩をカメラに収めようと、朝早くから訪れる人の姿も見られます。

陣馬自然公園センター【藤野町佐野川659-3 TEL: 0426-87-5270】

冬の自然を 楽しもう!

ビジターセンターのほど近く、春の木丸ハイキングコースの脇に生えている木の葉っぱに、妙なものがついていました。何でしょう?これは…さては虫こぶだな。

虫こぶ、それは、虫や菌などが植物に刺激を与えて作り出すコブのことです。種類も形もさまざまです。写真の虫こぶは、イヌブナハボタンフシといて、イヌブナの葉っぱにハエの仲間が作ったものです。一つの塊の中には、幼虫が一匹ずつ入っています。



虫こぶ



美しい紅葉

虫こぶは、幼虫のゆりかごの役目を果たし、葉が色づく頃、落葉するの先にだっぺ地上に落ち、冬を越します。虫こぶが落ちた後に葉が降り積もれば、暖かい布団になるという作戦のようです。身近なところにも自然の不思議がいっぱいあります。

紅葉の季節が過ぎ、クリスマスシーズンが過ぎると、本格的な冬の到来です。ひっそりとしている時こそ、じっくり自然観察が楽しめます。冬の装備を調べて、宮ヶ瀬にいらっしやいませんか? ビジターセンターでは、冬の自然の楽しみ方をお教えます。(長澤)

宮ヶ瀬ビジターセンター【清川村宮ヶ瀬940-15 TEL: 0462-88-1373】

企画展への おさそい

だんだんと寒さがまし、本格的な冬の到来です。そこで、暖かい館内にある展示へのお誘いです。(その一)

企画展「見どころ満載 大倉尾根」 表丹沢の登山口である秦野ビジターセンターから塔ノ岳標高一四九一メートルへ向かう大倉尾根は、毎年たくさんの方々が賑わう人気のコースです。企画展では、そんな大倉尾根の情報をお届けします。



「見どころ満載 大倉尾根」

また、センター周辺ではイノシシの掘り起こした跡が発見されたり、山からサルが降りて来て、ユズの木に登り実を取り荒らし、種と皮を残して去って行きます。十二日に開催された山岳マラソン大会は、多くの参加者で賑わいました。山頂から駆け下りる参加者の勢いに登山者もビックリしたようです。天気は快晴で、山頂からの眺望も最高でした。今年の紅葉の見頃は十一月十八日頃が最高となりましたが、はやめに訪れた方々が多かったようです。(荒井)



ハンデル語の宝物も...

各見晴らしポイントからの眺望(富士山や相模湾、雲海など)、登山道を彩る木々(春のヤマザクラや新緑など)などを写真や地図で紹介するほか、四季折々の草花、鳥、登山道脇でお目にかかれるケモノたちの痕跡、登山道整備の様子など、ちよっとお得なママ知識なども盛りだくさんです。是非、大倉尾根の新たな魅力を見つけていらして下さい! 平成十九年一月三十一日(水)まで実施中。

「みんなで作ろう! ビジターセンター周辺や登山道でみつけた(お宝)をイラストに描いて地図にはっていただくコーナーです。(鈴木)

秦野ビジターセンター【秦野市堀山下1513 TEL: 0463-87-9300】

発行: 財団法人神奈川県公園協会 自然公園課
〒231-0015 横浜市尾上町5-20
TEL: 045-633-5211 FAX: 045-633-5214
ホームページ: <http://www.kanagawa-park.or.jp/>